令和4年度から交付対象水田の考えが再徹底され、令和4年から5年間一度も水稲の作付がない農地は交付金の対象としない方針が示されました。

ただし、次に掲げる場合を除きます。

(ア) 被災した農地、道路又は所要の用水を供給しうる設備が災害復旧の対象となり、水稲の作付が困難であることが確認できること。

(イ) 農業基盤整備事業等の対象となり、水稲の作付が困難であることが確認できること。

なお、次のすべてに該当する場合は、水稲の作付が行われたものとみなします。

- ① 水張りを1か月以上実施したことが確認できること。
- ② 連作障害による収量低下が発生していないこと

転作作物が定着している水田では、水稲の作付や水張を検討してください。

【具体例】

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	備考
ほ場 A	大豆	野菜	麦	麦	麦	麦	R9 から対象外
ほ場 B	大豆 ※水張り	大豆	大豆	大豆	大豆	大豆	R10 から対象外
ほ場 C	水稲	水稲 (飼料米)	水稲 (飼料米)	自己保全	麦	水稲	R15 から対象外

：水稲作付年度

：交付対象外年度

【手続き】

(1) 令和6～8年までに、対象水田について水稲(飼料米、WCS 含む)作付を行う方

実施の確認は、ご提出いただいた営農計画書及び現地確認等で判断しますので、別途手続きは不要です。

(2) 水田活用の直接支払交付金を申請されている方で、令和6～8年までに、水稲作付を行わない方

下記手順に従って水張りを実施して、必要書類を提出してください。

- ① たん水管理管理実施届出書をたん水開始前に事務局へご提出ください。
- ② 1か月以上の水張りを実施してください。
- ③ たん水管理実施報告書、連作障害に係る確認表、作業日誌をご提出ください。

お問い合わせ

安中市域農業再生協議会事務局
TEL 027-382-1111 (内線 2613)